



千倉町大貫の館山市と南房総市との境界沿いの山の中に、現在の太貫館山線（198号線）がなつた頃の古道の一部が残されています。

この川松寺の山の上の古道は、北は真野寺、西は、杉山観音院、小網手に、東は佐吉寺につながっています。巡礼の道でもあったと思われます。

50年程前にはまだ炭焼新をやっており、木をくりぬいた後の古道からの眺望をよめたよです。

北西には館山の鏡の浦、北には層山や伊予ヶ岳、東は千倉瀬戸茶 和田浦の浜が望めた。澄み渡った日には 富士山も...

山のうな(坂点)の古道ですが、今は森林が茂り(トウジ、ナラ、クヌギ、マツ竹など)森林浴のできる癒しの森になっています。

* 竹シロマツバシ



大貫古道 散策の径



古道は人々の日々の生活、近隣の村との行き来として使われ、主に屋根を利用して作られていました。南は火田、西は、山本、北は古茂口、山本につながっています。

大貫の古道は、時代の移り変わりと共に、ほとんど使われなくなりました。これらの古道を整備して、^{ハイキング}百人の暮らしを垣間見、思いを馳せることができたいと思っています。
(大貫古道の会2007年)

徒歩 2時間半～3時間 約4.5 km
小松寺より案内標 ①～⑧

イラスト・デザイン
ごとうらこ